

事務事業名		市道57号線周辺整備調査事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり				担当係	市街地整備係	担当課長名	小野 英世	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 計画的な中心市街地活性化の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	11523	一般	8	4	2	市単独事業・国県補助事業 国県補助事業 任意的事業・義務的事業 任意的事業 実施方法 一部委託 事業分類 計画策定・管理事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H27年度～H28年度		根拠法令 条例等	都市計画法 土地区画整理法		リーディングプロジェクト	該当なし	
						市長マニフェスト		3-1		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)						
市道佐野57号線の整備予定区間のうち、一部区間への面的整備の導入について、その可否を含め整備区域や整備手法等を決定するための調査を行う事業である。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元検討委員会(市道佐野57号線整備検討委員会)を組織し、整備計画素案の検討を行った。検討委員会 計5回開催、その他説明会 計2回開催</li> <li>・整備基本計画等作成の業務委託を実施した。</li> <li>・権利調査を実施した。</li> </ul>						
平成27年度: 地元検討委員会の開催、整備基本計画の作成、権利調査を行う。 平成28年度: 測量、事業計画の作成、関係各機関との協議、事業化に向けた法的手続きを進める。		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
		権利者ヒアリング	人	-	-	21	27	-

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

整備予定区域内権利者		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
		権利者数	人	-	-	27	27	-

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
① 権利者のニーズを的確に把握する。 ② 整備に対する権利者の理解を深める。		権利者の同意率	%	-	-	74	90	-

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民の生活スタイルに必要な移動手段を確保するとともに、交通網を整備し、まちなかや市内外の交流を活性化化する。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		まちなかが以前に比べて便利になったと思う市民の割合	%	-	25.9	25.8	30.0	31.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円			2,100	2,000				
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			6,095	11,525				
	事業費計(A)	千円	0	0	8,195	13,525	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							食糧費	9	消耗品費	9
						業務委託料	8,186	食糧費	16	
						業務委託料	13,500			
人件費	人			4	4					
のべ業務時間	時間			2,560	2,560					
人件費計(B)	千円	0	0	9,969	9,969	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	18,164	23,494	0	0			

事務事業名	市道57号線周辺整備調査事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	市街地整備係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中心市街地道路整備基本計画により位置付けられた市道佐野57号線の整備に際し、東側工区の一部区間については土地利用や防災上の観点から面的整備が必要となる。このため、事業化に向けて必要な調査事業を行うものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	新庁舎建設に伴い、中心市街地へのアクセス向上のための道路整備の必要性が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	H25. 6月議会で新庁舎完成後の近隣地域における自動車交通の混雑解消方法について、H26. 6月議会で新庁舎建設を踏まえての駅前南東エリアの整備計画について、H28. 2月議会で新庁舎へのアクセス道路整備及び周辺整備について、それぞれ質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	中心市街地へのアクセス向上に寄与する道路整備に連動した面的整備計画を策定することは、中心市街地の道路網の整備や活性化に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市道佐野57号線の整備及び関連する面的整備は市の施策として実施するものであり、本事業は面的整備の実施に向けた調査事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	面的整備の必要区域や整備手法等を決定するものであり、将来的に円滑な事業の推進を図るためには権利者の意向を把握し理解と協力を得る必要がある。このため、対象は整備予定区域内の権利者とし、意図としては、権利者のニーズを的確に把握し、整備に対する理解を深めてもらうこととした。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	新庁舎周辺の道路整備は重要課題となっているが、そのために必要な整備計画を作成するものであり、平成28年度も引き続き調査事業を実施することで、初めて事業化が可能となるものである。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業実施に向けた必要最小限の調査事業であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	事業実施に向けた調査事業であり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
面的整備区域や整備計画が確定し、事業化に向けた法的手続き等に一定の進捗が得られ、事業化が確実となった時に終了する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
					コスト																			
			削減	維持	増加																			
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																								
計画に基づき、費用と人数を投入し事業を進める。																								